学大者問題

三月

農学部学友諸君！農学部の再編並びに、校舎問題等を現状を踏まえ、再認識しなければならない。

まず校舎問題が提起されるのであるが、三期分校舎に関し8月着工を農学部教授会は6/20大衆団交の席上に於いて言明しながらもその裏切り的にも校舎は依然として一切建設されていない！

第三期校舎計画そのものすら欺瞞的に全く不充分も甚しいという事が団交で明九にされたし、教授会は学問研究的立場すら離れ、学生を無視し理事会に屈した形で表われた。それでもなを誠意ある態度をとるならば後期建設の具体案を我々の前に明らかにするとともに、前期校舎の建設は8月に既に始まっていなければならない、教授会、理事会は大学としての実体を誠意ある態度で保証する義務があるのだ。現状を観る限り4月完成すらがなされないのではないか、

我々は、この様な欺瞞的な態度を断固裁断すると共にその責任を追求し早期完工を断固要求しなければならない。

着工が欺瞞的に成されない現在、直接的斗争が必然的に要求される、同時に生田地区総合計画の一環としてとり挙げられる図書館問題等は、その計画の途上、利用者たる学生の前にその計画を公開しないまま隠蔽し続けて居り、その現象面として、暖房設備、校舎問題、図書館問題としてあるのであり、理事会教授会が社会情勢に対処しえないところの矛盾としてある。そこから全く学生の要求に対処しきれず欺瞞的な態度を取らざるを得ないところのこの様な問題として設定されるのである。図書館問題として、運動場の移転と同時に工学部裏のグランドが使用不可能となりそれと同時に新たな運動場が完成されない限り、我々学生にとって事実上課外運動場なき学園と化する。

まさしくそれは理事会教授会が確固たる計画性、至当な針のないまま学生の主体的要求に対処しきれないで学生無視の、姿勢以外の何ものでもない。ここに当面の我々の課題として、図書館着工時期の明確な提示とその計画を学生の前に明らかにされなければならない。

校舎問題、図書館問題、グランド問題、等各々を勝ち取るべく学友諸君は学生会、統一会議の下に結集せよ!!

・農校舎四月完成を！

・後期分の計画を明らかにせよ！

・図書館年内着工要求！

・学生不在の図書館建設反対！

・総合計画の基で学生に明らかにせよ！

10/8